

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市桂台地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

桂台ケアプラザの担当地区は、本郷中央地区、上郷西地区の二つのエリアです。

- 本郷中央地区…7,100 世帯 生産年齢人口の減少、高齢者人口の増加が顕著です。また、後期高齢者の割合も高くなっています。

第 3 期地域福祉保健計画・地区別計画の課題は以下のとおりです。

- ① 超高齢社会の安心安全 ② 安心感のある子育て ③ 福祉的側面からの防災対応
- ④ 安心して暮らせる福祉 ⑤ 持続可能な仕組みづくり

以上のテーマについて、本郷中央地区支えあい連絡会の事務局として課題解決に取り組みました。具体的な活動としては、それぞれのテーマに沿って、地区内の高齢者サロンマップ作成、子育てサロン見学会、地区内防災フォーラムの開催、地区内障害関係施設リーフレットの作成等を行いました。

- 上郷西地区…65 歳以上の占める割合が増加しています。また、居住期間 20 年以上の世帯率が 50% を越えており、この地区に住み続ける人が多いです。

第 3 期地域福祉保健計画・地区別計画の課題は以下のとおりです。

- ③ お互いを気遣いあうまちに ② みんなが主役の明るいまちに
- ③ いきいきと健康で暮らせるまちに

上記、地区別計画の推進について上郷西つながるプラン推進会議の事務局として活動するとともに個別の相談援助、介護予防事業、自主事業等から地域課題を汲み取り、課題解決に努めました。

具体的な活動としては、認知症の方やその家族を地域で支えることをテーマにした講演会の開催、世代間交流サロンの実施、消費者被害の防止についての講座等を行いました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

○関係諸機関と連携しながら、高齢者だけではなく子ども・障害のある方など幅広い相談を受けられる体制を作っています。

（障害）

関係機関と連携し、障害のある方への相談を随時行っています。① インテークを行い、専門機関につなぎます。② 障害、高齢等分野にまたがる支援が必要な場合、適切な専門機関と連携して支援します。

（子ども）

○ 地域の子どもの遊び場として開放しているおもちゃ文庫サロンに子育て支援者を配置し、親の悩みを傾聴し、こどもの様子を見守りながら障害に関する早期発見に努めた。※相談ケースの場合、桂台保育園や保健センターの地区担当に伝え情報共有を図りました。

<おもちゃ文庫サロン> (月～金)

○ 子育て経験者や保健センターなどで活動している保育協力者5名が支援者として常駐し、育児不安や悩みへの助言、専門相談随関の紹介や情報提供を行いました。

<おもちゃ文庫支援者会議> (月1回)

○ 定例会議によって親子の様子や対応した育児相談の内容を共有し、近隣保育園の保育士を囲んで見守りの仕方、適切な声かけなどについて学びました。

(2) 各事業の連携

地域の生活者の視点に立ち、地域包括支援センターの3職種および生活支援コーディネーター、地域交流活動事業のコーディネーターが協力し、支援を行いました。大きな成果として、地域包括支援センターが把握した課題(ひとり暮らし高齢者の支援等)を地域ケア会議で取り上げ、生活支援コーディネーターと協力して協議体を設置し地域のちよいボラグループの設立を支援したことが挙げられます。

その他、お互いの専門分野および強みを活かした新たな取り組みとして、次の実践を行いました。

- ・ 認知症予防サロン(3Aスマイルの会)の拡充(5事業の連携)
- ・ 地域サロンとデイサービスの交流事業(地域包括、生活支援、通所介護の連携)
- ・ イトヨーカドー桂台支店「コミュニティプラザ桂台」への支援(5事業の連携)

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 目標管理制度をおき、研修計画を含めた目標管理計画を立案し実施しました。
- 地域包括支援センターは、利用者が適切に居宅介護支援事業者を選択できるように、横浜市栄区ケアマネ空き情報を活用し、公正中立性の確保に努めました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

○ 本郷中央地区支えあい連絡会 ※事務局として参加

① 自治会訪問(年3箇所実施)…本郷中央地区支えあい連絡会幹事会および自治会長等がパイプ役となり、情報交換を行い、よりよい自治会活動や福祉活動の促進を行うことを目的とする。

② 協働福祉講座…地域福祉保健計画のテーマに沿った講座を行い、地域住民の共通認識を図ることを促進する。平成29年度は、地域防災をテーマに講演会を実施した。

③ 視察研修…地域福祉保健計画のテーマに沿った視察研修を行い、地域住民の共通認識を図ることを促進する。平成29年度は、神奈川県防災センターを見学した。

※ その他の活動として本郷中央地域・障害者関係施設ネットワークと連携しリーフレットを作成・配布した。

○ 湘南福祉連絡会(月1回実施) ※地域包括支援センターが参加。

湘南桂台自治会エリアの住民を対象として、地域住民の見守りを目的に、民生委員、自治会役員と各団体の活動について情報を共有した。

○ 本郷中央地区民生委員・児童委員協議会(月1回実施)

※ 地域包括支援センターが事例検討会及びブロック会議に参加

一人暮らし高齢者等を見守りを目的に、民生委員・児童委員と各団体の活動について情報を共有した。

○ お互いさま支えあい連絡会議 ※地域包括支援センターが参加。

公田町団地の住民を対象として、地域住民の見守りを目的に、民生委員、区役所

職員と各団体の活動について情報を共有した。

○ 配食グループ「ゆう」送迎ボランティアミーティング ※地域包括支援センターが参加。

利用者を対象として、地域住民の見守りを目的に、団体の活動について情報を共有した。

○ 上郷西支えあい・つながるプラン推進会議 ※ 事務局として参加
主な活動として以下の取り組みを行いました。

- ① 支えあい豊かに暮らす連絡会の開催 テーマ 認知症への理解
- ② 街の活性化交流員会の活動 挨拶運動の啓発、取り組みの促進
- ③ 防災視察見学会 視察場所 東京そなエリア
- ④ 世代間交流サロンぬくもりの開催 年3回実施

○ 桂台ケアプラザ・ボランティアグループネット※地域交流コーディネーターが事務局として参加

ボランティアグループの研修及び情報交換を目的として行いました。

テーマ「認知症講座、夏バテ防止、終活講座、救急車の利用法等」

(5) 区行政との協働

区行政から提示された資料をもとに地域課題を分析し、その結果を地域住民と共有しながら地域課題の解決にあたりました。具体的な成果としては、①担当エリアにある障害者関係施設ネットワークを軸にして地域住民との交流を促進しました。②地域包括ケアを進めるために、担当エリアのインフォーマルグループの立ち上げを支援しました。(ミニボラ桂台)③地域で課題になっている子どもの居場所づくりを進めるために、いわゆる子ども食堂などを推進しているグループを支援しました。(桂台げんき食堂)④地域の認知症に対する理解を進めるために、家族会、認知症カフェ、予防サロン等の事業を継続し理解の裾野を広げる活動を継続しました。(N・Fの会、桂台カフェ、栄区若年性認知症の集い、3A・スマイルの会)さらに、家族会のメンバーが講師となり認知症サポーター養成講座の講師や地域で行う集会の講師となり、区の会議にも参加しました。⑤地域のボランティア活動者を増やすためにデイサービス等で気軽に参加できる活動を増やしました。(おはようボランティア、N友ボランティア、歌ともボランティアなど)

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

○ 地域ニーズにあわせた自主事業に取り組みました。

シニアライフの充実と仲間づくり

① ポールウォーキング講座 (12/15…29名参加、3/16)

※10月より自主グループになった。

② パソコンサロン(5,6月…39名 9,10月…36名、11,12月…36名、2,3月…48名予定)

③ 桂台ケアプラザ・聞き書き隊(毎月)※聞き書き活動の情報交換を目的に行いました。

④ さかえ・グリーン協力隊(毎月定例会)剪定、除草作業件数42件活動しました。
認知症理解の啓発

① N・Fの会(毎月1回)…認知症の方を介護している家族の会

② 桂台カフェ(毎月)…認知症の方と家族の方のサロン

③ 3A・スマイルの会(月4回)…認知症予防プログラムと仲間づくり

○こども分野の事業

親子のふれあいタイム

- ・ベビーマッサージ…乳児対象（5/8…10組 20名、10/6…9組 18名参加）
- ・歯磨きのコツ…乳幼児対象 にこりんく共催（1/18…15組 32名参加）
- ・食育講座…小学生対象
（5/21 マシュマロフォンダント 25名、8/24 餃子作り 24名参加）
- ・DIY…小学生対象 木片工作（7/15…25名参加）
- ・親子運動会…未就園児対象（9/15…17組 38名参加） チューリップ共催
- ・こどもの救急救命講座（11/21…12組 24名参加） 栄消防署協力
- ・クリスマスイベント 未就園児対象 人形オペレッタ（12/19…58名）

○障害分野の事業

- ・本郷中央地域障害者関係者施設ネットワーク ※ 事務局として参加
- ・みんな、一緒に歌おう ネットワーク関係施設の利用者と地域住民の交流企画

○出前講座等

- イトーヨーカドー桂台店「桂台コミュニティプラザ」を利用した講座
- ・園芸講座（4,5,6月…延べ60名参加）
- ・みんな、一緒に歌おう（5/12…37名）近隣の障害者施設から15名参加
- ・こどもアート（5月～3月）毎回3～4名の参加、園児～小学校低学年
- ・成年後見講座（12/22…12名、1/26…13名）

(2)福祉保健活動団体等が活動する場の提供

○利用率を上げるための取り組み

- ・貸館利用団体交流会（2月）団体相互の活動への理解をより深めるため種別ごとに開催し、貸館事業に対する意見・要望を聞き、ケアプラザ事業へ反映させました。また交流会の中で、災害時の対応やAED研修、避難経路の確認を行い、安心して活動できるように研修を行いました。2/6
- ・調理室清掃（年1回）調理室利用の多い団体を中心に8月に清掃を行いました。団体間の交流を兼ねながら、清掃を通して公共の用具・備品を大切に扱う意識を再確認しました。…8/4 10団体 23名参加
- ・利用情報の周知（随時）窓口や電話での利用状況のお知らせを随時行いました。

○夜間利用を促進する取り組み

- 上記イベント等で積極的に昼間の予約しにくい時間帯から夜間帯への案内を促しました。
- 利用日時が重なって活動に支障が出た場合、貸室であるコミュニティプラザ桂台を紹介し、途切れのない活動を支援しました。

(3)ボランティアの育成及びコーディネート

○ボランティア育成のための講座

- ・よこはまシニアボランティアポイント登録研修会（1回）…9/15 29名参加登録
- ・剪定ボランティア養成講座 3/17
さかえ・グリーン協力隊のメンバーを増やすことを目的に開催しました。

○ボランティアコーディネーター

- 個人、および貸館登録団体へ働きかけ、ボランティア活動への参加を呼び掛けました。また、デイサービスに所属するボランティアコーディネーターと連携し活動者を増やしました。

○ボランティア同士のネットワーク化

- ・ボランティアグループネットの開催（年11回）…延べ164名参加
- 研修・講座内容：「簡身体操」、「認知症の話」、「生活支援COについて」「あんしんセンターについて」、「栄養講座 夏バテを防ぐ食事」、「救急車の正しい利用法」、「紙芝居アンサンブルよこはま」、「音楽療法」、「栄養講座 免疫力」、「VO、ケアマネ事業所との情報交換会」相互情報交換会

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

○ 社会資源の把握

5 職種連携を行い、各部署各々が収集した社会資源の把握に努めました。

○ データの積極的活用

データを分析し、抽出されたニーズにアプローチしました。

○ 把握したニーズの取り纏め

生活支援コーディネーターの纏めている社会資源リスト作成に協力しました。

○ 活動の紹介や交流会の開催

・ 広報誌「地域交流プログラム」の発行(年12回)を行いました。

・ 毎月開催する事業の紹介の他に、地域活動者向けに特集記事を掲載し役に立つ情報の発信を行いました。

・ 桂台小学校との交流・・・デイサービスとの交流・施設見学を行いました。

・ 桂台中学校との交流・・・文化祭に協力 (障害の方が仕事で使う道具の紹介)

<電子媒体> (随時更新)

○ 法人ホームページを活用し情報の発信を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

○ 地域ケアプラザ内で5職種が連携して事業実施に取り組む体制を整備しました。

・ 3職種会議 (毎月)

・ 6部門会議 (毎月)

○ 区役所、区社協、他ケアプラザとノウハウを共有した生活体制整備支援事業の推進に取り組みました。

・ 生活支援CO連絡会の実施 年12回

・ 「サードエイジ・ラボ」ボランティア養成講座を行いました。

(2) 地域アセスメント (ニーズ・資源の把握・分析)

○ 地域に居住する高齢者における生活課題の把握を継続して行いました。

地域の高齢者の生活課題として次のニーズを拾いました。

・ 高齢者の生活上の細々とした手伝いをするボランティアが必要である。

・ 配偶者を亡くし、孤独感にさいなまれている人への支援が必要である。

・ 庭木の剪定ができなくなり困っている方への支援が必要である。

○ 住民主体の地域活動サービスリストの作成

・ 住民主体の地域活動のデータベースシステム (AYAMU) の作成を開始しました。

○ ケアプラザ内部における地域資源情報の提供

・ 地域資源リストの情報をケアマネジメントに活かせるよう適宜情報提供しました。

(3) 連携・協議の場

○ 連携協議の場を把握し、目指す地域像を地域と共有する。

・ 本郷中央地区支えあい連絡会を通じて目指す地域像に向けて実現できるよう事務局として参加し、地域福祉保健計画の推進に取り組みました。

・ 地域ケア会議の参加 (6/29) により「ちよいボラ活動の必要性について地域住民を含めた参加者で共有しました。

○ 連携・協議の場への参加を通じて、地域ニーズに即した生活支援活動を立ち上げる支援を行いました。

・ 6/29開催の地域ケア会議を経て、協議体を立ち上げ、ちよいボラ活動グループを組織化するための話し合いを5回行いました。結果として、新しくちよいボラ活動を行

う「ミニボラ桂台」が立ちあがりました。
・昨年度立ちあがった、「あおぞら会」を継続し、配偶者を亡くした方の精神的な支援をグループワークにより行いました。
・庭の維持ができずの困っている高齢者の支援を目的に立ちあげた「さかえ・グリーン協力隊」の活動を事務局としてサポートしました。

(4)より広域の地域課題の解決に向けた取組

○区役所・区社協、他ケアプラザと情報共有を行い、広域の地域課題を認識しました。
・生活支援コーディネーター連絡会に参加しました。
(研修の開催回数)
・生活支援コーディネーターに必要な研修への計画的な参加をしました。
(研修内容)
「生活支援コーディネーターと協議体に期待される役割と機能について」「あったらいいな こんなサービス」を行いました。

4 地域包括支援センター運営 事業

(1) 総合相談 支援業務

①地域におけるネットワークの構築

○地域のネットワーク把握と活用

地域交流、生活体制整備支援事業と協力し、地域ネットワークの把握を行う。また、社会資源リストの作成を生活支援コーディネーターと協力して行いました。

○地域包括支援センターの地域への啓発（地域の会合への参加）および地域の委嘱役員やインフォーマルグループとの情報交換の取り組みを行いました。

<地域福祉活動からの把握>

○地域の委嘱役員やインフォーマルグループとの情報交換のカンファレンスを行った。

① 本郷中央地区民生委員・児童委員協議会本郷中央地区民生委員・児童委員協議会ブロック会議に出席し、地区の高齢者等の情報交換を行うと共に、事例検討を行い、課題の共有を図りました。

② 高齢者等定期訪問連絡会（民生委員児童委員、友愛活動推進員と把握ケースの情報交換）ブロック毎に3回行い民生委員とのつながりを図りました。

③ 湘南福祉連絡会（湘南桂台自治会地区の自治会、民生委員児童委員、シニアクラブ、家事支援グループの把握ケースについての情報交換）を年4回、6月、9月、12月に実施しました。

④ 公田町団地見守り連絡会議（月1回）・NPO 法人お互いさまねっと公田町団地職員、民生委員・児童委員、UR 都市機構職員、栄区高齢障害支援課と把握ケースの情報交換を行いました。（年12回実施）

⑤ 配食グループ「ゆう」配達ボランティアミーティングに参加（7月、10月の4回参加）利用者の情報を共有したことで相談につながりました。

⑥ ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業民生委員・児童委員、栄区高齢障害支援課、包括支援センター職員で75歳以上の一人暮らし高齢者へ訪問を行い、状況の把握を行った。（年1回）参加し地域にも参加を呼び掛けました。

②実態把握

<地域福祉活動からの把握>

○地域の委嘱役員やインフォーマルグループとの情報交換のカンファレンスを行いました。

① 本郷中央地区民生委員・児童委員協議会本郷中央地区民生委員・児童委員協議会ブロック会議に出席し、地区の高齢者等の情報交換を行うと共に、事例検討を行い、課題の共有を行いました。

② 高齢者等定期訪問連絡会（民生委員児童委員、友愛活動推進員と把握ケースの情報交換）ブロック毎に3回行い民生委員とのつながりを図りました。

③ 湘南福祉連絡会（湘南桂台自治会地区の自治会、民生委員児童委員、シニアクラブ、家

事支援グループの把握ケースについての情報交換)を年4回、6月、9月、12月に実施しました。

- ④ 公田町団地見守り連絡会議(月1回)・NPO 法人お互いさまねっと公田町団地職員、民生委員・児童委員、UR 都市機構職員、栄区高齢障害支援課と把握ケースの情報交換を行いました。
- ⑤ 配食グループ「ゆう」配達ボランティアミーティングに参加(7月、10月の4回参加)利用者の情報を共有し相談につながりました。
- ⑥ ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業民生委員・児童委員、栄区高齢障害支援課、包括支援センター職員で75歳以上の一人暮らし高齢者へ訪問を行い、状況の把握を行った。(年1回)参加し地域にも参加を呼び掛けました。

③総合相談支援

○相談内容の的確な把握

相談内容から検討した結果、ちょっとした生活の困りごとを行うインフォーマルサービスが不足している事が課題となり、地域ケア会議でテーマとし生活支援体制整備事業の協議体を経て新しいちょいボラグループの立ち上げを支援しました。

○問題解決のための情報提供および継続的なフォロー

総合相談でインテークを行い、各機関と連携し個別の問題解決を図った。4月～12月までの総合相談件数が、869件(内訪問191件)でした。また、問題解決にあたっては、栄区高齢障害支援課、生活支援課、居宅介護支援事業所等介護保険サービス事業所と連携しました。支援困難ケースについては、高齢・障害支援課と定例カンファレンスを月1回行い、地域ケア会議を3回開催した。所内では、総合相談記録の電子データ管理を行い、担当制を敷いて継続している相談の定期的なモニタリングを行いました。(センター内で、途切れがちなケースを継続してモニタリングを行いました。月2回会議を開催)総合相談記録の電子データ管理および検索システムを月1回更新しました。

(2) 権利擁護 業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

○権利擁護に関する相談支援

- ・個別相談は随時行いました。
- ・権利擁護に関する相談会を実施しました。(年3回)
- ・権利擁護事業と連携し・栄区内の6館のケアプラザ共催で司法書士・行政書士による権利擁護相談会を月に1回ずつ開催をしました。(桂台ケアプラザは2月に実施予定)

○成年後見制度の普及啓発

- ・成年後見制度に関する講座を実施しました。(年2回)

○区長申し立てが必要な事案を適切につなげました。

○親族申し立てが必要な事案を適切につなげました。また、第三者後見人が必要な場合にアドバイスしました。

その他、以下の取り組みを行いました。

- ・後見申立て支援(制度説明、書類作成、受任団体紹介、区長申立て等の為、区高齢障害支援課と連携)
- ・後見人を含めた支援チームの構築支援
- ・遺言・相続等の相談で、専門職と連携。

<ネットワーク>

栄区サポートネットに参加し、成年後見受任団体の弁護士会、社会福祉士会、司法書士会、行政書士会と事例を基にした情報交換を行いました。また、普及啓発事業として、権利擁護講座を開催しました。(6月、9月、12月)

②高齢者虐待 への対応

○区高齢障害支援課と連携し虐待事案に対応を行いました。また、虐待防止のための市町村権限行使にあたって協力しました。

・コアメンバーでネットワークミーティングを随時開催しました。

○虐待防止に関する住民への啓発活動

・栄区セーフコミュニティ高齢者安全対策分科会、徘徊高齢者 SOS ネットワーク及び高齢者虐待防止合同連絡会に参加しました。(年 3 回)

③認知症

○認知症の正しい理解の促進のための取り組み

認知症の正しい理解の促進のための取り組みとして、キャラバンメイトと協力し、認知症サポーター養成講座を開催しました。(年 1 回、講師：聖ヶ丘教育福祉専門学校 木田氏)

ケアプラザが支援している N・F の会と協力し、講演会などの企画や講師派遣を行いました。(年 3 回)

○認知症ネットワークの構築

栄区セーフコミュニティ高齢者安全対策分科会、徘徊高齢者 SOS ネットワーク及び高齢者虐待防止合同連絡会に参加し、情報交換・連携を図りました。

神奈川県下で行われている、若年性認知症の連絡会に参加し情報交換を行いました。(年 2 回)

○居場所や家族のつどいなどの取り組み

認知症の方を支える家族会である N・F の会と協力し、認知症カフェである桂台カフェを開催しました。(年 12 回)

栄区ケアプラザ 6 館で協力体制をつくり、栄区・若年性認知症のつどいを開催しました。(年 3 回)

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

○ケアマネジャーのニーズの把握

エリア内の担当マネジャーが担当ケースの会議に出席したり相談を受けることでニーズの把握を行いました。

○地域の社会資源に関するケアマネジャーへの情報提供

現在作成している地域の社会資源リストの冊子を年 1 回更新し、担当エリアのケアマネジャーに提供しました。

○地域住民に対する介護保険制度やサービスなどの情報提供

エリア内のシニアクラブを訪問し、介護保険制度やサービス利用に至るまでの流れ等について情報提供を行いました。

○ケアマネジャーと地域のインフォーマルサービスの担い手とのネットワークの構築

・ケアマネジャーと民生委員との懇談会(6月8日)本郷中央地区の民生委員と地域のケアマネジャーが顔の見える関係を構築すると共にお互いの活動を知る機会を作り、意見交換を行いました。

・ケアマネジャーと地域のボランティアグループとの 情報交換会(3月23日予定)

・本郷中央地区民生委員・児童委員協議会本郷中央地区民生委員・児童委員協議会ブロック会議への出席地区の高齢者等の情報交換を行うと共に刳列検討を行い、課題の共有を行いました。(年 6 回)

・ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業民生委員・児童委員、栄区高齢障害支援課、包括支援センター職員で 75 歳以上の一人暮らし高齢者へ訪問を行い、状況の把握を行いました。(年 1 回)

・相談内容から検討した結果、ちょっとした生活の困りごとを行うインフォーマルサービスが不足している事が課題となり、地域ケア会議でテーマとし生活支援体制整備事業の協議体を経て新しいちょいボラグループの立ち上げを支援しました。

②医療・介護の連携推進支援

- ケアマネジャーと医療機関等とのネットワーク構築の取り組み
 - ・桂台ケアプラザの担当薬局と包括職員とエリア内のケアマネジャーとの懇談会を開催し（年4回）お互いの役割や高齢者の情報交換を行いました。
 - ・ケアマネジャーやサービス事業所と講義と事例検討会を開催しました。（年4回）
- 地域の医療機関への個別訪問等の取り組み
 - ・栄区内の医院、歯科医院へ訪問し地域交流プログラムを配布し情報交換を行いました。

③ケアマネジャー支援

- ケアマネジャーからの相談支援
 - 居宅介護支援事業所訪問を行い、ケアマネジャーからの相談を受けました。（年1回）また、支援困難事例について個別の地域ケア会議を開催する機会を提供しました。
 - ・認知症で支援が必要な高齢世帯を地域でどう地域で見守るか
 - ・息子が介護している方の介護と支援について
- ケアマネジメントの質の向上への支援
 - 栄区在宅医療相談室との共催事業でケアマネジャー向けの研修会を開催し、質の向上に取り組みました。（年1回）
- 新任・就労予定ケアマネジャーへの支援
 - 栄区内の6ケアプラザ共催で、新人・就労ケアマネジャー講座を行いました。また、介護支援専門員研修の実務講習受講者の研修受け入れを開始し、3名受け入れました。

（4）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 個別ケース地域ケア会議の開催及び多課題へのアプローチ
 - 類似した個別相談事例や地域での相談からの課題を抽出し、包括レベルケア会議につなげました。
- 包括レベル・ケア会議の取り組み
 - ・地域ケア会議を年4回開催し、個別事例から課題を抽出し参加者間で課題解決に向けて討議を行いました。
 - 1回目 ボランティア活動を継続するために～私たちができる事～
※自治会とも協力し、ちょいボラグループが立ちあがった。
 - 2回目 支援が必要な認知症の方の金銭管理について
※自治会活動で認知症の勉強会が開催できた。地域向けのあんしんセンターについての勉強会を開催した。
 - 3回目 一人での受診や薬の受け取りが困難になった方の支援について
※地域向けに薬剤師が講師となり、お薬手帳・カレンダーの活用について講座を開催した。
 - 4回目 住み慣れた地域に永住するためには

（5）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 目標指向型の介護予防ケアマネジメントの取り組み
 - 栄区内6館のケアプラザ共催で介護予防ケアマネジメント従事者研修を開催しました。
- 地域特性を活かしたプラン作成の取り組み
 - サービス担当者会議や評価時にプランを確認し利用者に必要な社会資源の情報についての提供や助言を行いました。
- 委託を行ったケアマネジャーへの支援

・委託契約をしている居宅介護支援事業所と連絡を取り、利用者の状態を把握しています。また、年に1回委託契約をしている居宅介護事業所に訪問し、いつでも相談できる関係を構築し適切なケアマネジメントを行うことができました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 介護予防教室の実施
- 地域の中で介護予防が広がるような取り組み
介護予防教室を「健康づくりサポーターズ」と協力して8回(3コース)また、会場を変えて実施しました。(桂台団地、朝日平和台)
6月 延べ参加数 29名 サポーター5名
11月 延べ参加者数 19名
2月 延べ参加数 42名
- 介護予防のきっかけになる情報提供活動や活動の促進
 - ・自治会館単位で自治会館を会場とした介護予防教室を開催しました。
 - ・地域交流プログラムを活用し、介護予防の情報を地域に伝達しました。
 - ・様々な機会を活用し、介護予防の情報提供を行いました。

その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- 地域活動ホーム径と合同で設置した建物・設備管理委員会を通じ、建物・設備についての計画的な点検・修繕を実施し、施設の機能低下の予防および施設の安全な利用の確保をおこない施設の長寿命化を図ることに努めました。
- 建物設備については業者の定期的な自主点検だけでなく、職員の自主点検を行い、故障や破損等の早期発見に努めました。また、小エリアの職員担当制を敷き不良箇所の早期発見に努めました。
- エレベーター・自動扉・給湯、冷暖房設備、電気設備等については保守点検契約を結ぶだけでなく、定時(21時)の館内見回りの際、各設備を目視確認しました。また、事業に支障が起きないように、故障が起きた箇所は速やかに修繕を行いました
- 清掃業務、廃棄物処理については業務委託し、清潔な施設環境を維持することに努めました。
- 通所介護事業では、入浴機械類、車椅子、特殊ベッド等福祉用具等を使用前後に毎回チェックしました。また、月に一度定期点検を行いました。

イ 効率的な運営への取組について

○法人理念、およびケアプラザ条例等に基づき、地域ケアプラザの目的を達成するために、毎年、事業計画・予算計画を作成し効率的な運営に努めました。

○地域包括支援センター、地域交流活動事業、居宅介護支援、通所介護事業、生活体制整備支援事業の5部門を効果的に運営するため、部門間の連携と各スタッフのスキルアップを目指しました。

○スタッフの質の向上を図る取り組みとして、常勤スタッフ全員を対象に研修計画を含めた目標管理計画を作成し、年に3回面接を行いました。

ウ 苦情受付体制について

○事業毎に、苦情解決責任者、苦情解決担当者を配置し対応しました。

○ポスター、重要事項説明書等で苦情解決責任者、苦情受付担当者、および神奈川県国民健康保険団体連合会、市町村介護保険窓口等の周知をし、利用者の不利益にならないよう努めました。

○第三者委員との懇談会を年に1回開催し、いただいたご意見を検討しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

<防犯>

○夜間当直終了後から翌朝までの防犯体制については機械警備を実施し、侵入者等に対するセキュリティ対策を行いました。

<防災>

○消防計画に基づき、防災担当職員（防火管理権限者・防火管理責任者・防災委員等）を配置し、また消防訓練および避難誘導訓練を行い予防に努めました。消防設備の点検については業者に委託し、法定どおり行いました。

○地域活動ホーム径と合同の防災対策会議、防災委員会を組織し、防災対策について意識啓発と災害対策に取り組みました。特別避難所の開設訓練も行いました。

オ 事故防止への取組について

○事故防止については、セーフティマネジメント委員会を設け、ヒヤリ・ハット等のインシデントレポートの提出を義務付けます。また、提出されたヒヤリ・ハットの原因分析を行い、セーフティマネジメント委員会から事故予防のための提案を行いました。

○事故が起こった場合は、速やかに、家族・医療機関・介護支援専門員・行政機関等に連絡しました。また、起こってしまった事故に対しては、原因を分析して改善策を立て、すぐに再発防止の対策を実施しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

○ 横浜市の条例に基づき、スタッフ向けの個人情報保護マニュアルを作成し、周知します。また、具体的な業務手順についてのマニュアルを整備し、年1回個人情報保護について研修を行いました。

キ 情報公開への取組について

○ 事業内容等については法人の作成するホームページで公開します。インターネット上では、その他「ワムネット」「かながわ福祉サービス振興会」「横浜市」「情報公表制度」等で事業所に関する情報を公開します。

○ 前年度決算については、事業活動の紹介とともに法人発行の冊子「訪問の家だより」で公開します。その情報については法人 HP 等でインターネット上に公開します。

ク 人権啓発への取組について

○ 理事長講話を人権研修とし、職員の意識を啓発した。

ケ 環境等への配慮及び取組について

○ ゴミの分別推進に関する委員および内部の各部門に担当職員を配置し、リサイクルの意識を高めました。雑紙、白紙、色紙等、ボックスを利用して分類し、再生紙利用に努める他、地球温暖化防止キャンペーンに則り、館内夏は 28℃、冬は 22℃の維持、クールビズ、ウォームビズを推進します。今年度も継続して熱中症対策および節電対策に取り組みました。

【介護保険事業】

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者（看護師） 兼任 1名
主任ケアマネジャー 兼任 1名
社会福祉士 兼任 2名
看護師 兼任 1名

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

・特になし

《目標に対する成果等》

毎月1回、内部研修を行い、制度やサービス、医療知識等の習得を行い、利用者の皆さまと一緒に健康状態の維持、介護予防や生活状況の改善を目標とした計画を作成しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

包括支援センター3職種が連携し、フットワーク良くマネジメント業務を行っています。また、全体の利用者について全スタッフが情報共有できるようにミーティングを密に行ない、いつでも相談できる体制をつくっています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
196	195	192	194	193	202
10月	11月	12月	1月	2月	3月
209	207	200	197	206	204

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 兼任 1 名
ケアマネジャー専任 3 名
ケアマネジャー兼任 2 名（再掲 1 名）

《目標に対する成果等》

毎週 1 回、内部研修を行い、制度やサービス、医療知識等の習得を行い、ご自宅において自立した日常生活を営むことを支援するケアプランが作成できるように努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 指定地域以外の交通費実費

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域包括支援センター、行政、民生委員、地域交流事業と密に連携し、利用者の問題解決を支援する。また特定事業所として、週に 1 回テーマを決めて勉強会を実施し、質の高いケアマネジメントを行えるように技術の向上を図ります。また、24 時間の連絡体制を確保して、チームで利用者・家族の相談に対応できるよう努めます。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
133	130	139	131	131	137
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
126	137	134	132	137	137

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 基本サービス（送迎・入浴・食事）

《実費負担》

- 1割負担分（体制加算等含む）

（要介護1）	676円
（要介護2）	787円
（要介護3）	899円
（要介護4）	1,010円
（要介護5）	1,122円

※ 2割負担は倍額

- 食費負担 700円
- オムツ代 50円～150円
- 布パンツ 200円
- 医療用品 50円～150円

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 10:00 ～ 16:00

《職員体制》

所長1名、相談員3名、ケアワーカー常勤5名・非常勤12名、看護師5名、栄養士1名、調理員3名

《目標に対する成果等》

ご利用者、家族そして地域の方に「居心地の良い、安心できる、人に優しい」サービスを提供することを目指します。また、運動、アクティビティ、入浴、食事等のプログラムを通じて健康状態の維持、改善を目標とします。今年度は、マシーンをを使った体操プログラム（トランスフィットネス）を取り入れました。プログラムは、地域ボランティアが多数、講師となっており充実しています。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザの特長を活かし、地域と連携したサービス提供を目指しています。ボランティア活動者は年間で1300人を超え、保育園、小学校、中学校との交流も盛んに行いました。さらに、地域のサロンとの合同企画や交流会なども実施しました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
620	639	664	694	708	627
10月	11月	12月	1月	2月	3月
697	681	656	663	696	733

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 基本サービス（送迎・入浴・食事）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分 ※要支援2・週1回利用は半額

要支援1 1,818円/月

要支援2 3,724円/月

※ 2割負担は倍額

- 食費負担 700円
- オムツ代 50円～150円
- 布パンツ 200円
- 医療用品 50円～150円

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 10:00 ～ 16:00

《職員体制》

所長1名、相談員3名、ケアワーカー常勤5名・非常勤12名、看護師5名、栄養士1名、調理員3名

《目標に対する成果等》

ご利用者、家族そして地域の方に「居心地の良い、安心できる、人に優しい」サービスを提供することを目指します。また、運動、アクティビティ、入浴、食事等のプログラムを通じて健康状態の維持、改善を目標とします。今年度は、マシーンを使った体操プログラム（トランスフィットネス）を取り入れました。プログラムは、地域ボランティアが多数、講師となっており充実しています。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザの特長を活かし、地域と連携したサービス提供を目指しています。ボランティア活動者は年間で1300人を超え、保育園、小学校、中学校との交流も盛んに行いました。さらに、地域のサロンとの合同企画や交流会なども実施しました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
24	29	28	27	27	26
10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	28	25	26	24	23

平成28年度「桂台地域ケアプラザ」
取支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,528,687	△ 21,230	17,507,457	17,507,457	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	12,100	△ 12,100	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	2,380,000		2,380,000	2,380,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	19,908,687	△ 21,230	19,887,457	19,899,557	△ 12,100	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,900,000	0	11,900,000	12,504,247	△ 604,247	
本俸	8,900,000		8,900,000	8,987,897	△ 87,897	
社会保険料	900,000		900,000	1,193,180	△ 293,180	
手当計	1,960,000		1,960,000	2,167,564	△ 207,564	
健康診断費	40,000		40,000	16,443	23,557	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	マニマニ基金
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	139,163	△ 39,163	
その他	0		0	0	0	
事務費	338,400	0	338,400	1,411,542	△ 1,073,142	
旅費	10,000		10,000	4,960	5,040	
消耗品費	73,400		73,400	408,105	△ 334,705	
会議随費	25,000		25,000	15,979	9,021	
印刷製本費	30,000		30,000	8,492	21,508	
通信費	100,000		100,000	323,997	△ 223,997	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	112,275	△ 112,275	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	11,257	△ 1,257	
職員等研修費	10,000		10,000	5,868	4,132	
振込手数料	0		0	427	△ 427	
リース料	80,000		80,000	32,796	47,204	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	487,386	△ 487,386	
事業費	737,315	0	737,315	512,056	225,259	
運営協議会経費	42,000		42,000	43,125	△ 1,125	予算：指定額
指定管理料充当 事業	695,315		695,315	468,931	226,384	
管理費	5,980,972	0	5,980,972	5,489,416	3,623,860	
建築物・建築設備点検	89,486		89,486	68,256	21,230	予算：指定額
光熱水費	3,340,000	0	3,340,000	3,132,304	3,340,000	
電気料金	1,282,338		1,282,338		1,282,338	
ガス料金	670,450		670,450		670,450	内訳が一致していません
水道料金	1,387,212		1,387,212		1,387,212	
清掃費	668,929		668,929	668,929	0	
修繕費	474,000	0	474,000	523,677	△ 49,677	予算：指定額
機械整備費	44,377		44,377	258,868	△ 214,491	
設備保全費	713,651	0	713,651	717,246	△ 3,595	
空調衛生設備保守	347,380		347,380	347,380	0	
消防設備保守	125,840		125,840	129,435	△ 3,595	
電気設備保守	83,824		83,824	83,824	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	156,607		156,607	156,607	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	650,529		650,529	120,136	530,393	
公租公課	952,000	0	952,000	1,000,339	△ 48,339	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	952,000		952,000	1,000,339	△ 48,339	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
一対対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,908,687	0	19,908,687	20,917,600	2,123,391	
差引	0	△ 21,230	△ 21,230	△ 1,018,043	△ 2,135,491	

自主事業費収入	695,315		695,315	0	695,315	予算：指定管理料を含む
自主事業費支出	695,315		695,315	468,931	226,384	
自主事業収支	0	0	0	△ 468,931	468,931	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

**平成29年度「桂台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,144,001	△ 195,542	28,948,459	28,948,459	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,792,128	3,996,872	3,996,872	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	1,800	△ 1,800	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	35,084,001	△ 1,987,670	33,096,331	33,098,131	△ 1,800	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,960,000	0	31,960,000	32,202,484	△ 242,484	
本俸	17,920,000		17,920,000	18,151,044	△ 231,044	
社会保険料	4,060,000		4,060,000	4,159,507	△ 99,507	
手当計	9,500,000		9,500,000	9,469,451	30,549	
健康診断費	40,000		40,000	32,625	7,375	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	440,000		440,000	389,857	50,143	
その他	0		0	0	0	
事務費	381,600	0	381,600	1,868,863	△ 1,487,263	
旅費	10,000		10,000	5,640	4,360	
消耗品費	136,600		136,600	278,414	△ 141,814	
会議随費	20,000		20,000	18,920	1,080	
印刷製本費	15,000		15,000	5,292	9,708	
通信費	100,000		100,000	280,543	△ 180,543	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	15,257	△ 5,257	
職員等研修費	10,000		10,000	26,917	△ 16,917	
振込手数料	0		0	3,019	△ 3,019	
リース料	80,000		80,000	32,796	47,204	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	1,202,065	△ 1,202,065	
事業費	1,151,715	0	1,151,715	967,072	184,643	
協力医	630,000		630,000	441,000	189,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	61,715		61,715	59,315	2,400	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	315,757	△ 6,757	予算:指定額
管理費	1,566,000	0	1,566,000	1,445,998	952,639	
建築物・建築設備点検	24,686		24,686	18,144	6,542	予算:指定額
光熱水費	750,000	0	750,000	832,637	750,000	
電気料金	319,340		319,340		319,340	
ガス料金	130,660		130,660		130,660	内訳が一致していません
水道料金	300,000		300,000		300,000	
清掃費	177,815		177,815	177,815	0	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	11,796		11,796	68,813	△ 57,017	
設備保全費	189,699	0	189,699	190,655	△ 956	
空調衛生設備保守	92,339		92,339	92,339	0	
消防設備保守	33,450		33,450	34,406	△ 956	
電気設備保守	22,282		22,282	22,282	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	41,628		41,628	41,628	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	286,004		286,004	31,934	254,070	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	35,059,315	0	35,059,315	36,484,417	△ 592,465	
差引	24,686	△ 1,987,670	△ 1,962,984	△ 3,386,286	590,665	

自主事業収入	521,715			1,800		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	521,715			526,072		
自主事業収支	0			△ 524,272		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 桂台地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	1997184	29325061	77504374	11701703
	その他	0	2936910	1860760	0
	介護予防ケアマネジメント 費		2306473		
	事業・負担金収入				
	認定調査料		538360		
	事業収入(受託)			117320	
	その他		92077	1743440	
	収入合計(A)	1997184	32261971	79365134	11701703
支出	人件費		14969469	66592696	
	事務費			5794438	
	事業費			7865618	
	管理費			8339057	
	その他	0	0	1426534	0
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料				
	その他			1426534	
支出合計(B)	0	14969469	90018343	0	
収支 (A)-(B)	1997184	17292502	-10653209	11701703	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

桂台地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
親子のふれあいタイム(2回) (ベビーマッサージ)	①乳幼児・親子	14,800	地活	10,000	4,800		14,800		
	②10組(2回)		包括						
	③300円		生活						
親子のふれあいタイム (運動会)	①未就学児・その保護者	4,800	地活		4,800			4,800	
	②20組		包括						
	③300円		生活						
親子のふれあいタイム (クリスマスイベント)	①未就学児・その保護者	5,000	地活	5,000			5,000		
	②25組		包括						
	③0		生活						
親子のふれあいタイム (食育)	①小学低学年と保護者	12,500	地活	5,000	7,500		12,500		
	②12組		包括						
	③500円		生活						
親子のふれあいタイム (夏休み特別企画1) DIY工作	①小学生	3,700	地活	3,700					3,700
	②20名		包括						
	③0		生活						
親子のふれあいタイム (夏休み特別企画2) 食育	①小学生	10,812	地活	8,012	2,800		5,000	5,812	
	②15名		包括						
	③300円		生活						
親子のふれあいタイム (救命講座・歯磨きのコツ)	①未就学児・その保護者	5,000	地活	5,000			5,000		
	②10組		包括						
	③0		生活						
桂台オレンジフェスティバル	①桂台中学生と一般	0	地活	0					
	②150		包括						
	③0		生活						
ボランティアグループネット	①ボランティア団体	13,000	地活	13,000			13,000		
	②20名		包括						
	③0		生活						
出前講座	①一般		地活						
	②20名	20,000	包括						
	③0		生活						
調理室清掃	①調理室利用団体	4,400	地活	4,400					4,400
	②20名		包括						
	③0		生活						
貸館交流会	①貸館団体		地活						
	②20団体		包括						
	③0		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市桂台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
桂台中学オレンジフェスティバル	～福祉ものづくり～ <目的>教職員と生徒が地域の活動に接し関わりを深めることを目的とする <内容>この地域の特色ともいえる重度障害者の支援について福祉ものづくりシンポジウムが7月に開催となった。立正大学や湘南工科大学の学生が障害の重い人たちを支えるために作った「その人に合った機械」を展示した。この作品を桂台中学の生徒に実際に体験してもらった。大学生の説明に見入っていた。	10/19 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
-----	-------	---------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
-----	-------	---------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
-----	-------	---------

平成29年度 自主事業報告書

横浜市桂台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティアグループネット	<p><目的>当ケアプラザの担当エリア（本郷中央地区と上郷西地区）の高齢者サロン、配食グループの代表者が情報共有する事で地域全体の福祉課題の解決に向けて検討していく。研修会や情報交換会を開催</p> <p><内容>認知症研修・安心センターについて・栄養講座・救急車の正しい利用法・音楽療法・ケアマネ懇談会など様々な研修を開催した。情報交換会も開催。</p>	毎月1回 第4金曜日 午前中開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出前講座	<p><目的>桂台コミュニティプラザと称し園芸講座や健康講座、子どもアートなどヨーカドーのレンタルスペースを利用して行う啓発事業となる。</p> <p><内容>園芸講座4/23.5/21.6/11 健康講座 6/15.7/20.8/17.9/21. 子どもアート・歌声喫茶in桂台コミュニティプラザ・歌をうたおう、みんな一緒に!!</p>	<p>園芸講座 4/23.5/21.6/11 健康講座 6/15.7/20.8/17.9/21.10/19.11/16.12/2.1/18.2/15 子どもアート6/12 他 歌声喫茶 5/28.9/17 みんな一緒に!!5/12</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸館交流会	<p><目的>貸館団体活動の相互理解と貸館事業に対する意見、要望を聞き、ケアプラ事業へ反映させていく。</p> <p><内容>意見交換と災害にそなえたAEDの研修、避難経路の周知</p>	10/12 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理室清掃	<p><目的>ケアプラザの調理室を利用しているグループを中心に、大掃除を行う。お互い交流の場となり、掃除を通して公共の場という意識を持って頂く機会とする。</p> <p><内容>棚卸を兼ねて備品のチェックとレンジフード、床清掃など普段利用時にできない箇所の清掃</p>	8/4 1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市桂台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子のふれあいタイム(夏休み直前特別企画1)	工作教室～廃材がすてきな作品に変身するよ～ ＜目的＞小学生を対象に廃材を利用して手作りの作品にチャレンジ。異年齢や異学校等いろいろな人との出会いを通して視野を広げる。子どもの創造力を豊かに育てる ＜内容＞日本DIY協会から4名の講師が参加となる。思い思いの作品が完成した。	7/15 1回
親子のふれあいタイム(夏休み特別企画2)	～子供が作る餃子体験～ ＜目的＞小学生を対象に夏休みを利用して手作りの楽しさを体験する。異年齢や異学校等いろいろな人との出会いを通して視野を広げる。講師や地域の大人と接する機会となり協調性を学ぶ ＜内容＞餃子の具を包丁で刻み捏ねてあんを作り皮に包んで焼いていく。餃子の皮はピザに変身することも楽しむ。	8/24 1回
親子のふれあいタイム(救命講座)	「乳幼児救命講習」～人工呼吸・AED・心配蘇生法・応急手当を身につけよう～ ＜目的＞親子のふれあいを大切にし、未就学児を対象に心肺蘇生法やAEDを行い親子で命の大切さと怪我に対する注意法などを学ぶ。 ＜内容＞栄消防署 予防課から2名講師を招き、いざというときの救命法を学んだ。	11/21 1回
親子のふれあいタイム 歯磨きのコツ	歯磨きのコツ～虫歯を作らないために～ ＜目的＞歯磨きを通して親子の触れ合いと歯磨きのポイントを学ぶ ＜内容＞にこりんく共催・手遊びその後歯科衛生士による歯磨きのコツを紙芝居をしながら説明し、実際に一人ひとりの口を見てコツを伝授した。	1/18 1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市桂台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子のふれあいタイム(ベビーマッサージ)	<p><目的> 親子のふれあいを大切にする為、乳児期にベビーマッサージを実施してスキンシップの仕方を学び、慈愛の気持ちを育成する。</p> <p><内容> 講師の指導の元、乳児対象にベビーマッサージを行い、育児に対する不安などの相談をうけた</p>	5/8.10/6 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子のふれあいタイム(運動会)	<p><目的> 子育ての孤立化や養育上の不安を持つ保護者が増えている。講座により外に出るきっかけを与え、人と関わることの楽しさや正しい情報を得て安心し自信を持って子育てに取り組めるよう環境を整える。</p> <p><内容> 親子参加型でOYAKOCLUBチューリップと共催の企画。充実した内容の運動会となっていた。</p>	9/19 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子のふれあいタイム(クリスマスタイム)	<p><目的> 子育ての孤立化や養育上の不安を持つ保護者が増えている。講座により外に出るきっかけを与え、人と関わることの楽しさや正しい情報を得て安心し自信を持って子育てに取り組めるよう環境を整える。</p> <p><内容> 親子参加型のクリスマスイベント 親子・障害の方を含め60名近い方が参加となった。</p>	12/18 1回

目的・内容含め

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子のふれあいタイム(食育)	<p>「親子クッキング」～マシュマロフォンダント体験～</p> <p><目的> 親子のふれあいを大切にし、小学低学年を対象に食育を行い慈愛の気持ちを育成する。</p> <p><内容> 親子でカップケーキにデコレーションを行った。母の日や誕生日に今回の体験を生かしてほしいとの話が出ていた。</p>	5/21 1回